

緑施策の新展開(生物多様性地域戦略)の目標と主な取組の成果について

資料2-1

目標 (2012年計画策定時)	事業概要	主な取組の推移 (2012年度→2018年度)		
		実績	2012年度	2018年度末
1) 【まもる】～緑の保全強化～				
東京に残された貴重な緑である農地や森林などが保全されている。	「特別緑地保全地区の指定促進」により民有地の緑を保全 (NO. 4)	特別緑地保全地区の指定面積 (累計)	約262ha	約320ha
	保全地域の指定により、建築物の新築・増改築を制限し、貴重な自然地を保全 (NO. 5)	保全地域の指定面積 (累計)	約755ha	約758ha
	鳥獣保護区の指定により、狩猟捕獲を禁止し、野生鳥獣の保護・繁殖を推進 (NO. 8)	鳥獣保護区の指定面積 (累計)	47, 216ha	48, 635ha
	農のある風景を将来に引き継ぐため、「農の風景育成地区」を指定 (NO. 9)	指定箇所数 (累計)	0箇所	3箇所
	「東京都シカ保護管理計画」に基づき、生息密度の把握等を実施 (NO. 16)	ニホンジカの推定頭数 (中央値)	888頭 (2011年度時点)	約3, 000頭 (2017年度時点)
	公益的機能の高い森林を保安林として指定し、適正管理により森林を保全 (NO. 17)	保安林の指定面積 (累計)	18, 866ha	19, 278ha
	スギやヒノキ等を伐採し、花粉の少ないスギ等を植栽することにより、花粉量の削減 (NO. 20)	伐採契約面積 (累計)	295ha	631. 5ha
	企業や団体の協賛により「花粉の少ない森づくり」を推進 (NO. 19)	協定締結数 (累計)	17か所	31か所
生態系に配慮した緑の確保や外来種対策等が講じられ、希少種等の保全が進んでいる。	生態系に与える影響が大きい外来種の駆除を進め、生態系を保全 (NO. 36)	アライグマ・ハクビシン捕獲数 (1998年度からの累計)	3, 515頭	9, 159頭 (2017年度末まで)
	「里山へGO！」等を通じて、都民の緑地保全活動への参加を推進 (NO. 40)	緑地保全活動参加者数 (2015年度からの累計)	2015年度「里山へGO！」開始	17, 116人
水質改善の取組が進み、川や海などの水辺空間が、都民により一層身近なものとなっている。	生きものの生息環境として湧水地点の保全を実施 (NO. 27)	湧水地点数	616地点 (2013年度調査)	608地点 (2018年度調査)

目標（2012年計画策定時）	事業概要	主な取組の推移（2012年度→2018年度）		
		実績	2012年度	2018年度末
2) 【つくる】～緑のネットワーク化～				
2016年までの10年間で1,000haの新たな緑が創出されるとともに、2020年までに新たに都市公園等433haの整備が進むなど、緑あふれる都市東京が実現している。	緑のネットワークの拠点となる都市公園や海上公園等の整備を推進(NO. 53/57)	公園面積（累計）	約7,608ha	約7,909ha
	「緑確保の総合的な方針」に基づき、東京に残された貴重な緑を計画的に確保(NO. 74)	確保面積 (2010年度からの累計)	-	約309ha確保
	※緑の東京10年プロジェクト（2007年から2016年まで）において1,000haの緑を創出	創出面積（累計）	約498ha	約752ha創出 (2016年度末時点)
荒川から石神井川、調布保谷線を通じて多摩川へとつながる直径30kmの緑のリングが形成されるなど、公園や緑地を街路樹や緑化された河川で結ぶ「グリーンロード・ネットワーク」が充実している。	緑の拠点を街路樹でつなぐ「グリーンロード・ネットワーク」の形成・充実(NO. 51) ※緑の東京10年プロジェクトの目標として「都内の街路樹を100万本に倍増」を設定	街路樹本数	48万本 (2005年度末時点)	100万本達成
3) 【利用する】～緑の持続可能な利用の促進～				
都民、企業、NPOなど、あらゆる主体が生物多様性の重要性を理解し、行動している。 緑のムーブメントが定着し、都民、企業等による主体的な緑化や保全活動が活性化している。	島しょ部で保護すべき貴重な自然がある地区において、利用のルールを守るとともに東京都認定ガイドが同行し、自然の保護と適正な利用を図るエコツーリズムを推進(NO. 97)	エコツーリズム利用者数 (制度運用開始年度からの累計)	201千人利用	389千人利用
	都民が自然に親しみ、森林や林業に対する理解を深めることができるよう、都民の森を活用(NO. 98)	都民の森利用者数 (2004年度からの累計)	1,933千人利用	3,518千人利用
	都立公園において、ボランティアによる維持管理作業や自然環境に関する普及啓発等を実施(NO. 101)	ボランティア活動参加団体数	211団体が活動	192団体が活動
	公共事業や公共施設などへ、多摩産材を積極的に活用し、利用拡大を推進(NO. 103)	多摩産材出荷量(単年度)	29,706m ³	21,350m ³
	都民や企業からの募金により緑化や保全活動を進め、花と緑あふれる都市東京を実現(NO. 104)	募金額 (2007年度からの累計)	796,601,453円	984,273,254円